

# 狩野川水系河川整備計画の点検

令和2年10月27日

国土交通省 中部地方整備局  
沼津河川国道事務所

河川整備計画の主な整備内容と整備進捗

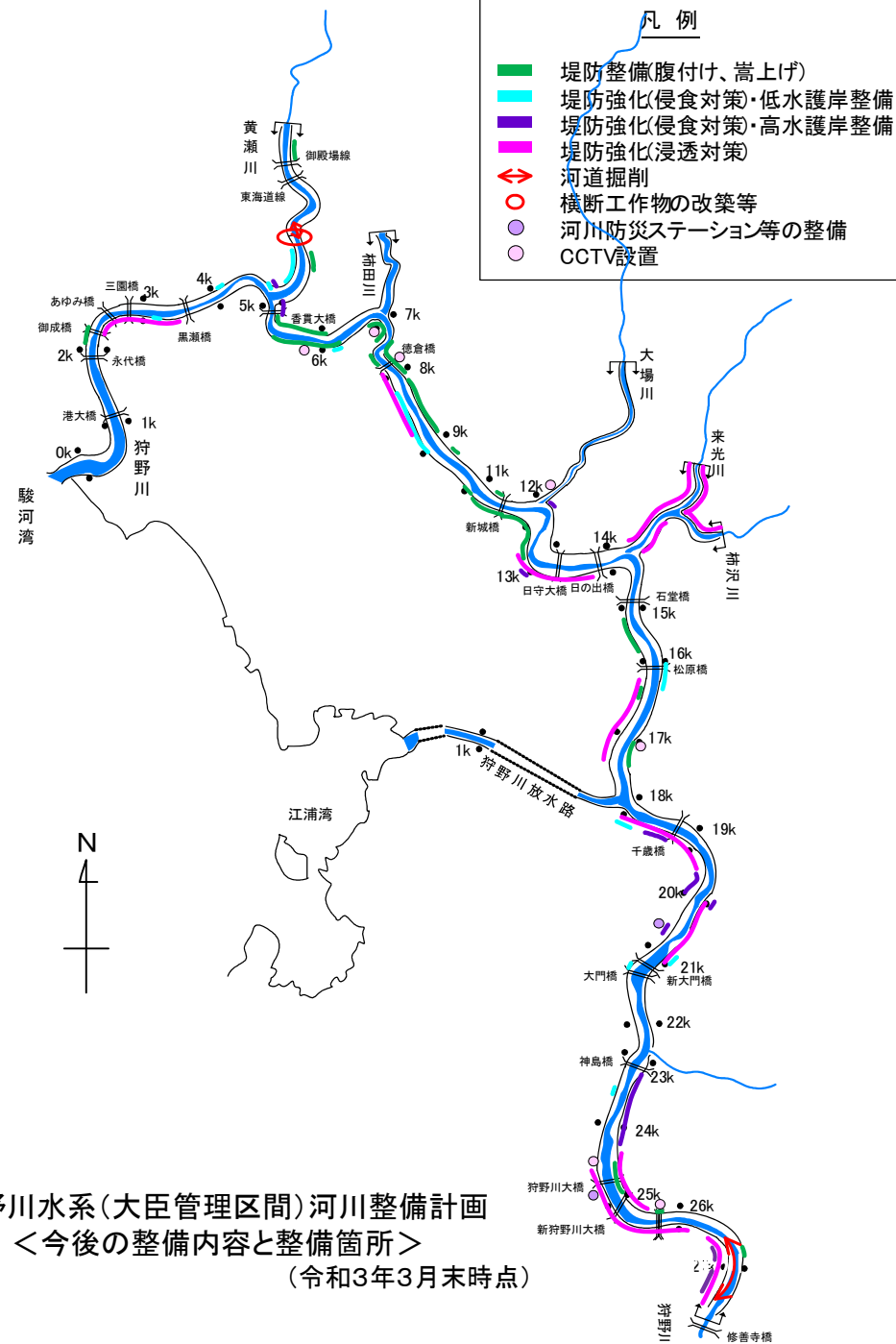
◆ 狩野川水系河川整備計画策定時(平成17年度)からの整備状況

- ・ 堤防整備と樹木伐開の整備進捗率は約5割～約8割と着実に進捗

狩野川水系(大臣管理区間)河川整備計画の主な整備内容と整備進捗率

整備内容	河川整備計画 (数量)①	整備完了 (数量)②	残工事 (数量)	整備進捗率 ②÷①
堤防整備(嵩上げ・腹付け)	約19.0km	約10.0km	約9.0km	約53%
浸透対策	約15.0km	約0.0km	約15.0km	0%
侵食対策(護岸整備)	約10.2km	約2.6km	約7.6km	約25%
河道掘削	約247千m <sup>3</sup>	約162千m <sup>3</sup>	約85千m <sup>3</sup>	約66%
樹木伐開 (維持伐開を除く)	約3.7ha	約3.0ha	約0.7ha	約81%
横断工作物等の改築	2箇所	1箇所	1箇所	50%
危機管理型ハード対策	約0.9km	約0.9km	0.0km	100%
減災対策 (河川防災ステーション等の整備)	3箇所	1箇所	2箇所	33%
減災対策 (CCTVカメラの増設)	8基	1基	7基	約13%

狩野川水系(大臣管理区間)河川整備計画  
(平成17年12月16日 策定)  
(平成28年12月9日 変更)



狩野川水系(大臣管理区間)河川整備計画  
＜今後の整備内容と整備箇所＞  
(令和3年3月末時点)

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく緊急的な整備の進捗

- ◆ 平成27年9月の関東・東北豪雨等を踏まえた「水防災意識社会再構築ビジョン」に沿って、2020年度を目途に、以下の整備を推進区間にて、
  - ・ 堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所などの優先的に対策が必要な堤防整備や河道掘削などの「洪水を安全に流すためのハード対策」の実施
  - ・ 堤防天端の保護、堤防裏法尻の保護など決壊までの時間を少しでも延ばすよう、堤防構造を工夫「危機管理型ハード対策」の実施
  - ・ 緊急時の水防備蓄資材の確保のための「河川防災ステーション」の設置
  - ・ ハード・ソフト面からの「総合的な内水対策」の実施

洪水を安全に流すためのハード対策



過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所や堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所などの優先的に整備が必要な区間において、**堤防のかさ上げや浸透対策などを実施**

沼津市大岡地区  
(堤防整備 L=0.87km)  
施工中 L=0.50km  
完成 L=0.37km

沼津市川瀬地区  
(河道掘削 L=0.60km)

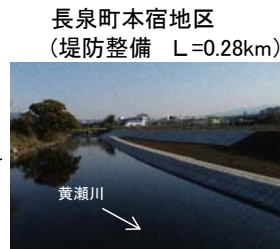


沼津市下河原地区  
(堤防整備 L=0.13km)

清水町長沢地区  
(河道掘削 L=0.84km)



長泉町本宿地区  
(堤防整備 L=0.28km)



清水町八幡地区  
(堤防整備・河道掘削 L=1.00km)  
完成 L=0.42km  
施工中 L=0.58km

清水町長沢地区  
(堤防整備 L=0.20km)  
施工中 L=150m  
未施工 L=50m

清水町的場地区  
(堤防整備 L=0.23km)  
未施工 L=0.03km  
施工中 L=0.20km

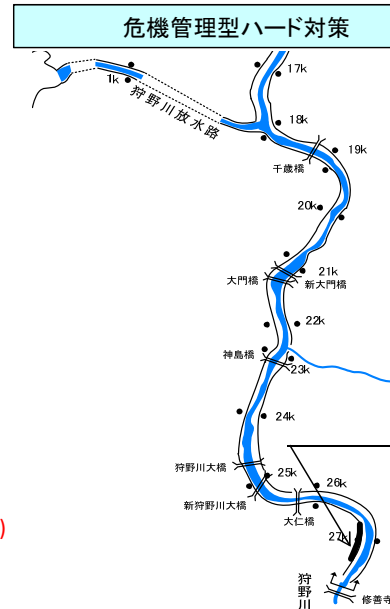
函南町日守地区  
伊豆の国市原木地区  
(堤防整備 L=0.35km)

沼津市大平地区  
(堤防整備 L=0.04km)

伊豆の国市南江間地区  
(堤防整備 L=0.18km)

【凡例】  
■ : 施工中  
■ : 完成  
■ : 未施工

危機管理型ハード対策



従来の「洪水を河川内で安全に流す」対策に加え、氾濫した場合にも被害を軽減する「**危機管理型ハード対策**」を導入  
 ・越水や漏水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう**堤防構造を工夫**する対策の推進を実施  
 ・**粘り強い構造の堤防の整備**

伊豆市熊坂地区  
(堤防裏法尻の保護 L=0.89km)



事業の進捗状況

洪水を安全に流すためのハード対策

内容	延長	完成延長	進捗率
浸透対策	—	—	—
パイピング対策	—	—	—
流下能力対策	4.7km	3.0km	65%
侵食・洗掘対策	—	—	—

危機管理型ハード対策

内容	延長	完成延長	進捗率
堤防天端の保護	—	—	—
堤防裏法尻の保護	0.9km	0.9km	100%

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく緊急的な整備の進捗

- ◆ 平成30年の7月豪雨等、近年の激甚化する災害で明らかとなった課題に対応するため、重要なインフラについて、災害時も機能を維持できるよう総点検が行われ、平成30年11月27日に対応方を整理
- ◆ 国土交通省では、所管する分野において、総点検の結果や得られた教訓等を踏まえ、ソフト・ハードの両面からの「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に集中的に実施
  - ・ハザードマップ等による各種リスク情報の徹底周知により、国民の安全確保に資する体制強化等の災害時に命を守るソフト対策
  - ・河川・砂防等の防災のための重要インフラの機能強化等による大規模な自然災害による被害の防止・最小化等のハード対策

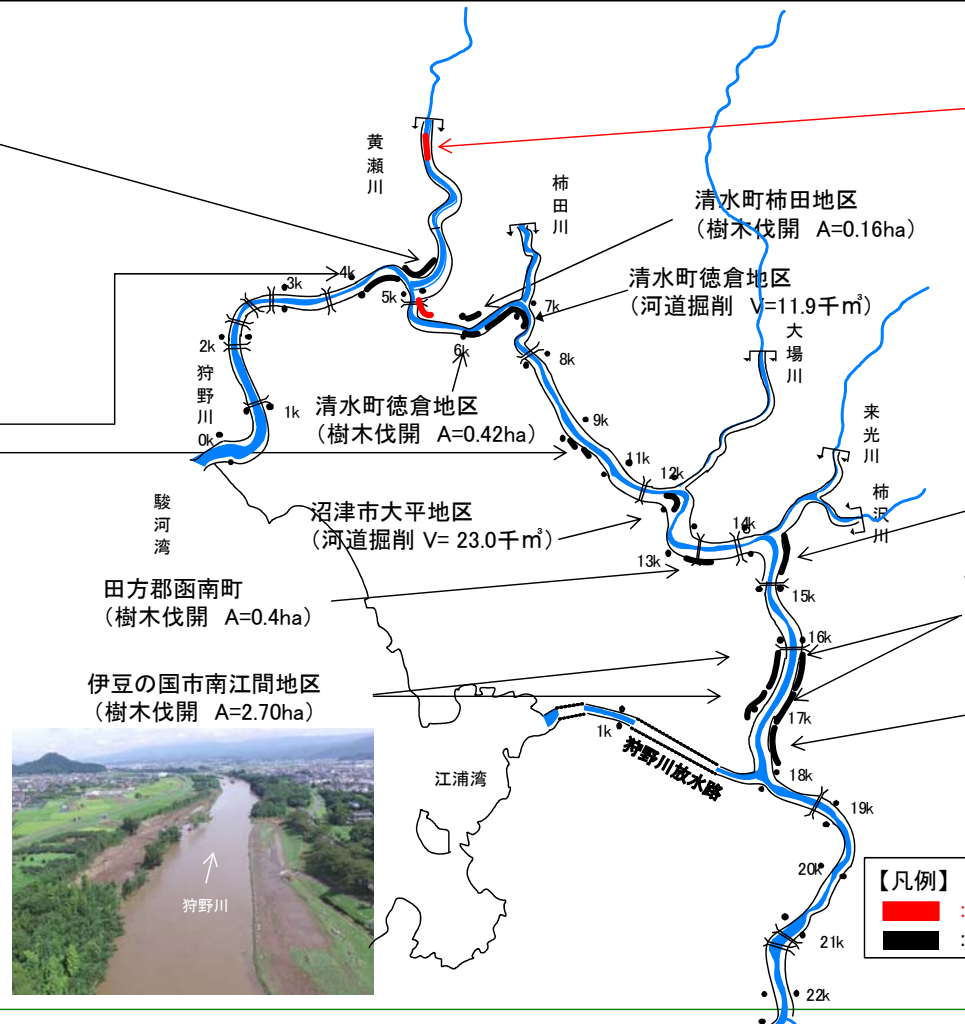
沼津市大岡地区  
(河道掘削V=52.1千m<sup>3</sup>)



沼津市中瀬地区  
(河道掘削V=6.1千m<sup>3</sup>)



沼津市大平地区  
(樹木伐開 A=0.95ha)



長泉町本宿地区  
(河道掘削V=5.0千m<sup>3</sup>)

伊豆の国市原木地区  
(樹木伐開 A=2.76ha)

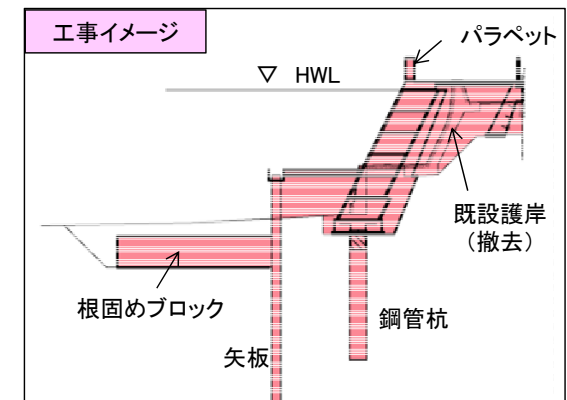
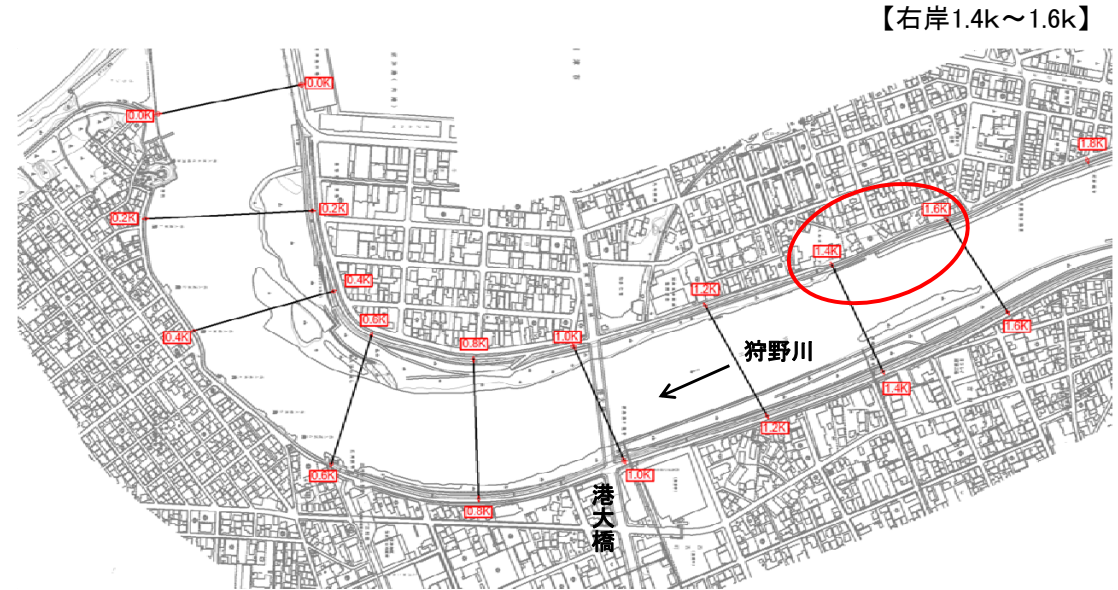
伊豆の国市四日町  
(樹木伐開 A=2.28ha)

伊豆の国市寺家地区  
(河道掘削 V=0.6千m<sup>3</sup>)



① 沼津市下河原地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 沼津市下河原地区は、<sup>しもがわら</sup>堤防高と断面が不足しているため、堤防整備を実施
- ◆ 令和2年度は、築堤護岸を実施

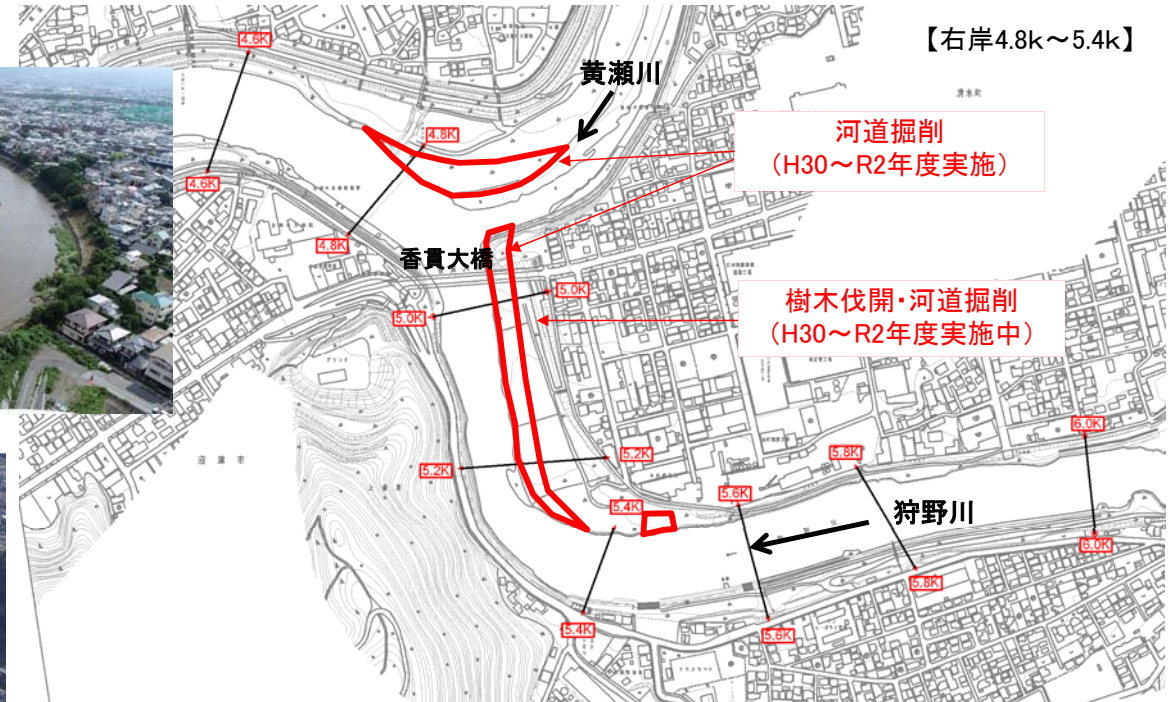


② 清水町長沢地区の河道掘削整備状況(狩野川)

- ◆ 清水町長沢地区の黄瀬川合流点付近は狭窄部であり、流下能力が不足しているため、河道掘削と樹木伐開を実施
- ◆ 令和2年度は、河道掘削を実施



黄瀬川の掘削完了後写真R2.6



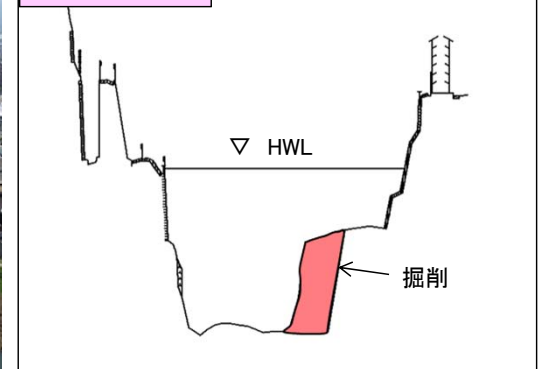
工事前



工事中 R2.4

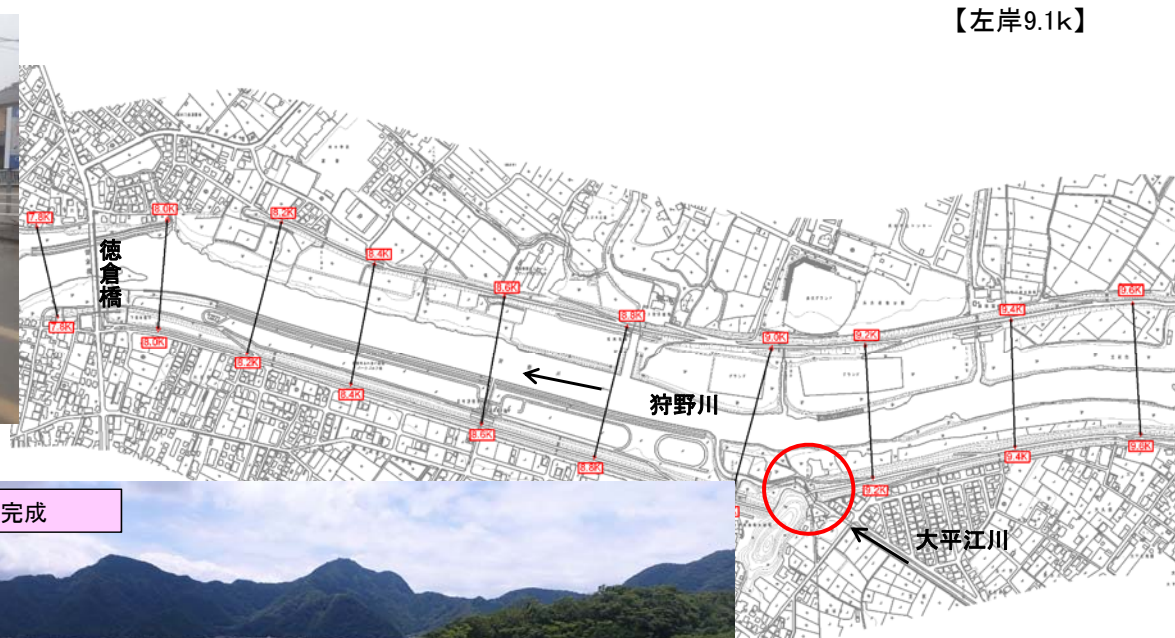


工事イメージ



③ 沼津市大平地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 沼津市<sup>おおひら</sup>大平地区の堤防は、堤防高と断面が不足
- ◆ また、同地区では、内水被害が頻発しているため、大平江川(沼津市)の河川改修とあわせ、堤防整備や樋管改築を実施
- ◆ 令和2年7月に完成。



④ 黄瀬川堤防整備状況(本宿地区、大岡地区、八幡地区)

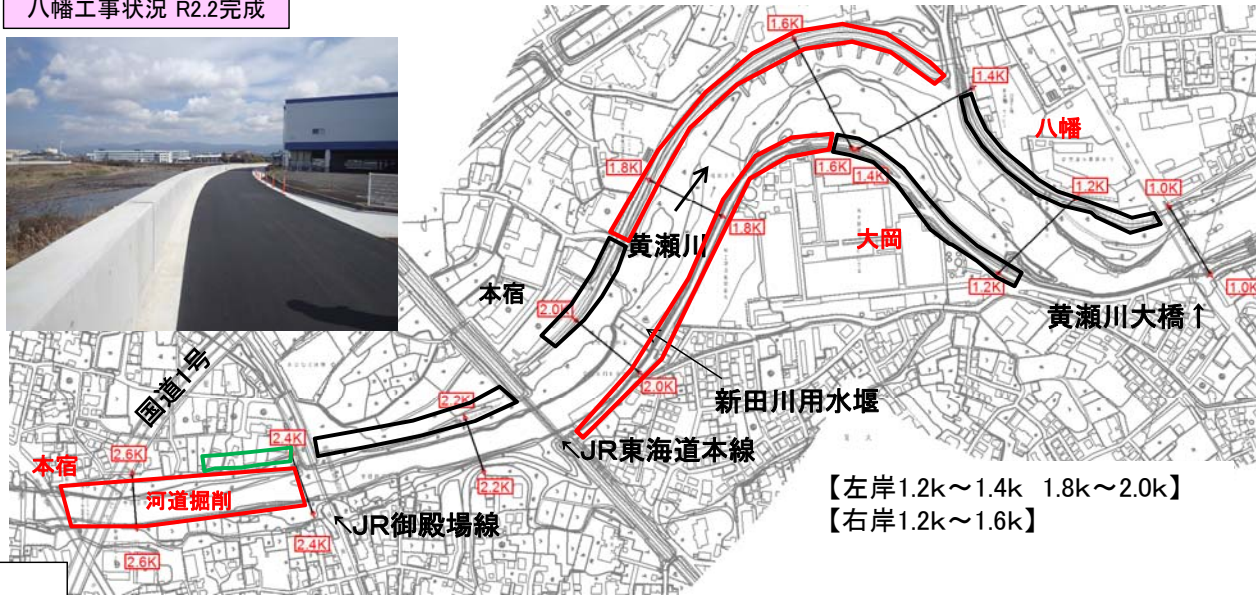
- ◆ 黄瀬川(長泉町本宿地区、沼津市大岡地区、清水町八幡地区)は、堤防高と断面が不足しているため、堤防整備と河道掘削等を実施
- ◆ 令和2年度は、堤防整備・河道掘削を実施



大岡工事状況 R2.2完成



八幡工事状況 R2.2完成



【左岸1.2k~1.4k 1.8k~2.0k】  
【右岸1.2k~1.6k】

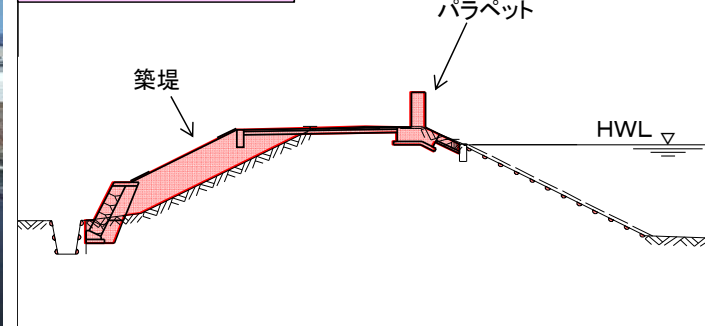
【凡例】  
— : 施工中  
— : 完成  
— : 未施工



本宿工事状況 R2.3完成



八幡工事イメージ



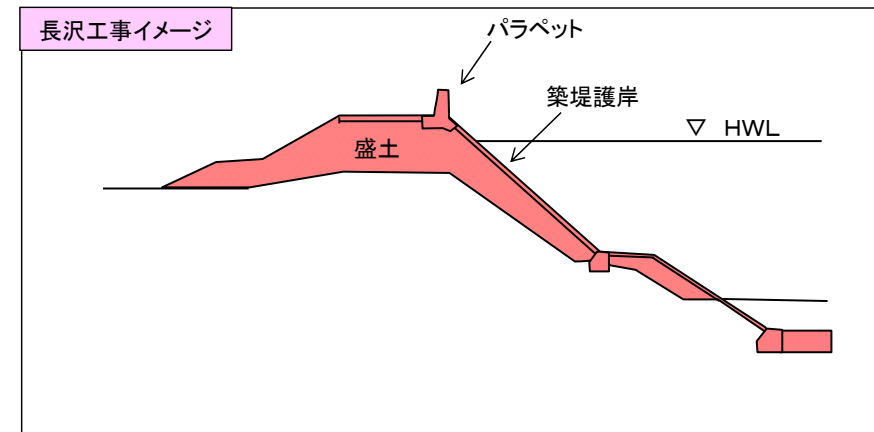
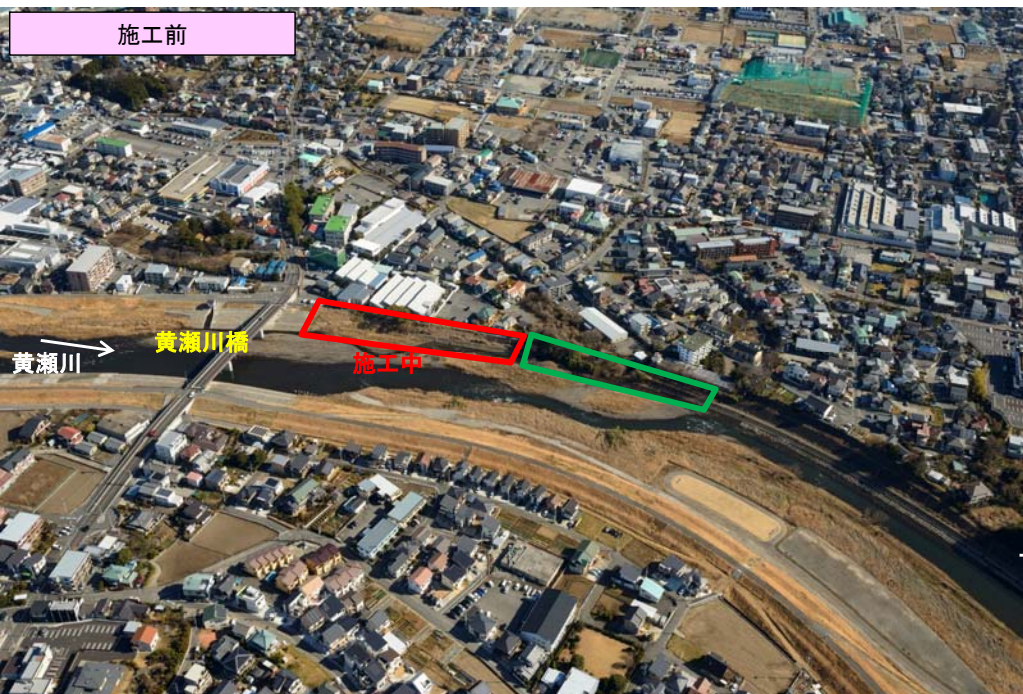
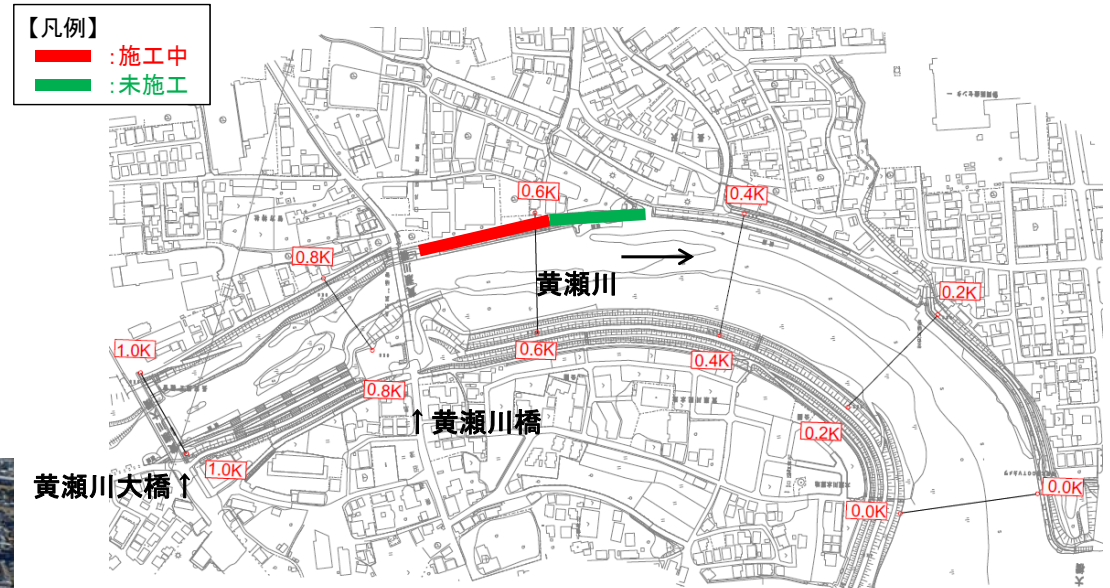


④ 黄瀬川堤防整備状況(長沢地区)

- ◆ 黄瀬川(清水町長沢地区)は、堤防高が不足しているため、堤防整備を実施
- ◆ 令和2年度は、堤防整備を実施



【左岸0.6k~0.8k】



⑤ 清水町的場地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 清水町<sup>まとはば</sup>的場地区の堤防は、堤防高と断面が不足
- ◆ また、同地区では、樋管の統廃合を行う。
- ◆ 令和2年は堤防整備と樋管改築を実施

